関西言語学会 第48回大会　特別ワークショップ

発話の非流暢性への学際的アプローチ

言語教育の立場から

船橋 瑞貴（日本大学）

2023年6月10日(土)10:00-12:00@Zoom

---

1. はじめに－教育実践の背景

問い　日本語学習者は日本語母語話者の非流暢性をどのように感じるのか

真正性(authenticity)*を重視した素材における学習者の「気づき」

言語教育における「気づき」の効果

◆ 第二言語習得論
「気づき」は習得プロセスの始まりとなる重要な要素(Schmidt 1990)
認知プロセス：インプットの中で学習者が注意を向ける(＝「気づき」)
→その形式と意味・機能の結びつきが理解された要素は、内在化(intake)される
→仮説検証のプロセスを経て、中間言語システムに統合される
→中間言語知識となった要素は必要に応じて自動的に産出が可能になる
(Gass 1997, 村野井 2006など)

◆ Language Awareness(LA)
「言語使用や言語間の類似点・相違点についての意識を高めることで、コミュニケーションにおいて、言語をうまく操る創造的な力(power)をつけさせること」(村岡 2012:235)が目標とされる
「気づき」を起こす方法についての共通原則 →

*真正性
「An authentic text is a stretch of real language, produced by a real speaker or writer for a real audience and designed to convey a real message of some sort.」(Morrow 1977:13)による。

2

---

1. はじめに－教育実践の背景

言語教育における「気づき」の効果

◆ Language Awareness(LA)
→「気づき」を起こす方法についての共通原則
教師中心の授業ではなく、あくまでも(a)生徒主体の発見型の学習。個人学習ではなく、(b)協働学習。規範的なアプローチではなく、(c)探索的でより柔軟なアプローチ。そして、何よりも大切なことが、(d)学習者による「内省・比較・分析・観察」がLAの中心的な活動であるということだ。学習者は教員から一方的に言語に関する規則や知識を教えてもらうのではなく、(e)実際の言語使用データーを使用し、自らの力で考えながら学習していくことにより、言語についてのさまざまな事象への気づきを高める。
(村岡 2012:241、下線と括弧英字は発表者)

→教育実践の事例(船橋・平田 2022)
教室内学習において効果的に「気づき」を起こすエ夫として(a)～(e)を意識し、**JLPT N2程度**の口頭表現クラスにおいて、**「わたしのちょっと面白い話コンテスト」**
(http://www.speech-data.jp/chotto/)の動画を素材とした指導例

今回の教育実践
船橋・平田(2022) を参考とし、日本語レベルがより低い段階(JLPT N4～N3相当)において、特定の言語運用状況における日本語母語話者の発話を素材とした指導を試みる

3

---

2. 教育実践

2.1. 授業概要－学習者の背景

今回の教育実践
船橋・平田(2022) を参考とし、**日本語レベルがより低い段階(JLPT N4～N3相当)**において、特定の言語運用状況における日本語母語話者の発話を素材とした指導を試みる

学習者

✓ 日本国内の大学(学部)に在籍する交換留学生3名(2023年3月に来日、全員女性、20代)

表1　来日時の学習者の背景

学習者	母語	日本語学習歴	JLPT取得状況
K1	韓国語	約1年半	N3取得
K2	韓国語	約1年	なし(N3相当)
S1	スペイン語	約3年	なし(N4～N3相当)

✓ 外国語環境における日本語学習歴
✓ 2023年4月より、週4回(計360分)の日本語学習を開始する

4

---

2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

今回の教育実践
船橋・平田(2022) を参考とし、**日本語レベルがより低い段階(JLPT N4～N3相当)**において、特定の言語運用状況における日本語母語話者の発話を素材とした指導を試みる

物理的な形式や音としては発話の流れを妨げる要素(＝非流暢性)であるものの、ある特定の状況においては、聞き手にはエラーや乱れとは認識されない要素

perceptual fluency
Segalowitz(2010)、岩崎(2020)、佐藤(2023)

教育現場で優先的に扱うべき非流暢性の一つ

5

---

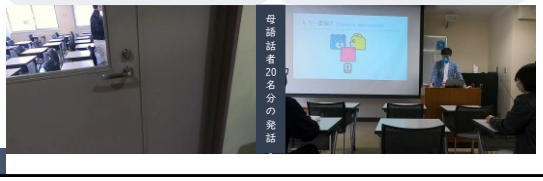
2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

今回の教育実践
船橋・平田(2022) を参考とし、日本語レベルがより低い段階(JLPT N4～N3相当)において、**特定の言語運用状況における日本語母語話者の発話を素材**とした指導を試みる

A. 宿題を忘れたことを先生に言う　**宿題**

B. 以前、先生は「小テストは来週だ」と言っていた。しかし、「明日、小テストをする」とのアナウンスがあった。そのことを先生に言う　**誤りの指摘**



6

2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

状況A　宿題

状況B　誤りの指摘

日本語母語話者(20名)による各20発話

一般の日本語母語話者(大学の学部在籍9名)による評価
(「この状況の発話として自然か」を4件法で評価、その理由を記述、必要に応じてFUインタビューを実施)

指導で用いる素材として各10発話（高評価5／低評価5）を選定　※同順位が複数あった場合は、発表者が順位づけを行う

評価の理由記述、FUインタビューから、評価には非流暢性が関与することを確認
→非流暢性の指導に用いるに適した素材と判断

7

2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

日本語母語話者による10発話（高評価5／低評価5）

状況A　宿題

【11女】
せんせー、あの、宿題を忘れてしまったのでー、次の日、持って来まーす。
【43女】
先生、すみません。ちょっと宿題を一忘れて来てしまいました。
【41男】
すいません、宿題、忘れてしまいました。
【47女】
先生、申し訳ございません。宿題を、忘れてしまいました。
【36女】
すみませーん、宿題わすれちゃったんですけどお、今度の授業でも、提出よろしいでしょうか。
【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろしいでしょうか。
【40女】
すいません、宿題忘れました。
【16男】
すいません、宿題忘れました。次回の授業で持ってきます。
【47男】
申し訳ありません。今日は提出日だと思ってませんでした。すみません。
【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

状況B　誤りの指摘

【26女】
先生、すみません。んとーー、あしたの小テストは、以前聞いていたあ、来週の、小テストとはまた別のーテストでしょうか。
【33女】
先生、すいません。
【43女】
先生、あしたですかぁー。来週の金曜日というふうに以前うかがった気がします。
【51男】
先生、あの、日程の再確認なんですけども小テストはらいしゅーーではないでしょうか。
【32男】
先生、え、前回、え、らいしゅうーということでしたが、あしたなんでしょうか。
【38女】
せんせー、ら、ええと、らいしゅー、にテストがあるって聞いたんですけどぉ。変更したんですかぁ。
【16男】
テストは来週じゃないんですかぁ。
【40女】
らいしゅーって聞いてたんですけど、変わったんですか。
【42女】
先生、来週ってゆってましたけれども、あしたになるんですか。
【47男】
明日ですか。来週っていうふうに聞いてたんですけど。

※学習者には縦ルビのスクリプトを提示

8

2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

状況A　高評価2／低評価2に対する評価コメント

状況A　宿題

【11女】
先生ー、あの、宿題を忘れてしまったのでぇー、次の日、持って来まーす。
【43女】
先生、すみません。ちょっと宿題を一忘れて来てしまいました。

- まじめできっちりしているような印象を受ける話し方で、自然な感じだったから
- 謝る表現が「すみません」というところが丁寧すでいないのと、「宿題を忘れてきてしまいました」という表現が自然だと感じた
- 発表が自然に聞こえたため
- ***文頭に間延のない「ちょっと」***が入っていたため

母語話者

FU
- 「ちょっと」が自然な発話に感じる

【47男】
申し訳ありません。今日は提出日だと思ってませんでした。すみません。
【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

- 柔滑な印象が受けられる
- ***イントネーションや間隔の付け方がとても自然***であったから
- ***発音が自然***だったため
- よくこのような言い方をする
- 「次の日」という言葉が個人的には「明日」の方が自然な会話になると感じる

母語話者

FU
- 延伸
- 「あの」というフィラー

FU
- 同じ調子（ヰ棒読み）

- 「宿題を忘れた」という発言がないので少し違和感を感じる
- 「今日は提出日だと思ってませんでした」という言い方はしない
- ***ハキハキしている***

母語話者

- 「申し訳ございません」が少し丁寧すぎる
- 「忘れてしまったんですけども」は使うには使うが、「忘れてしまいました」のほうが使うことが多い
- 反省の場で笑ってしまうのは誠意が伝わってこない

母語話者

9

2. 教育実践

2.2. 授業概要－素材

状況B　高評価2／低評価2に対する評価コメント

状況B　誤りの指摘

【26女】
先生、すみません。んとーー、あしたの小テストは、以前聞いていたあ、来週の、小テストとはまた別のーテストでしょうか。
【33女】
先生、すいません。あのー、ちょっと、かん違いかもしれなぁいんですけど、いぜんー、らいしゅーというふうにおっしゃっていたかと思うんですけどもー。

- 会話の最初に謝罪を入れてから始めるところや、***ちょくちょくつなぎ言葉がされていて、文章全体が説得の先に前置きする手段のやさんしのようを感じ言葉***をしているように思えたから
- ***接続詞にまっていて滑らいている***と思った

母語話者

- ***滑舌して話しているいいかたの商会やイントネーションがすごく自然***だったため
- ***「るの～」***で文章をつなげていたため、また、***「けれども」で言い切らない***ことで、相手に確認しているため

母語話者

FU
- 「んとー」「あのー」というフィラー
- 延伸
- 無声休止

FU
- はきはきして語気が強い
- 言い切っている

母語話者

- ***全体を言葉めている印象***
- 自然ではあるが、少し棒読み に感じたから
- 場面を考えると少しフランクかつ***自然の印象***を持った

母語話者

- 「明日ですか」の語尾が***疑問文で言わされているように聞こえる***
- 「思いてんんですけど」を文末に置くことで***聞っているような印象***になる
- ***とても高圧的***に感じてしまった

母語話者

【42女】
先生、来週ってゆってましたけれども、あしたになるんですか。
【47男】
明日ですか。来週っていうふうに聞いてたんですけど。

10

2. 教育実践

2.3. 授業概要－活動のながれ

Before　TRY1　状況A　宿題　と　状況B　誤りの指摘　において発話

状況Aにつづけて状況Bについて実施

＊自ら考える ❖ 協働を繰り返す

Language Awareness
実際の言語データを使用し、自ら考える
母語話者の発話を内省・比較・分析・観察
学習者間の協働

自 日本語母語話者10発話をランダムに聞き、順位づけを行う
コメントシートに、順位づけの理由を書く
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
順位づけ＋理由

＊＊スクリプトと母語話者による順位づけを提示＊＊

自 評価が低い発話＝「問題がある発話」と位置づけ、その問題点について考える
評価が高い発話＝「よい発話」と位置づけ、比較しながら考える
コメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自 知らなかった日本語や使いたい日本語、話し方についてコメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
母語話者の発話を観察
学びのまとめ

TRY1の振り返り

自 TRY1の自分とクラスメートの日本語について考える
コメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自分(たち)の発話を観察

After　TRY2　状況Aと状況Bにおいて再度、発話する

ビデオB と教師FB

11

3. 分析

3.1. 学習者による評価

Before　TRY1　状況A　宿題　と　状況B　誤りの指摘　において発話

状況Aにつづけて状況Bについて実施

＊自ら考える ❖ 協働を繰り返す

Language Awareness
実際の言語データを使用し、自ら考える
母語話者の発話を内省・比較・分析・観察
学習者間の協働

自 日本語母語話者10発話をランダムに聞き、順位づけを行う
コメントシートに、順位づけの理由を書く
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
順位づけ＋理由

＊＊スクリプトと母語話者による順位づけを提示＊＊

自 評価が低い発話＝「問題がある発話」と位置づけ、その問題点について考える
評価が高い発話＝「よい発話」と位置づけ、比較しながら考える
コメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自 知らなかった日本語や使いたい日本語、話し方についてコメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
母語話者の発話を観察
学びのまとめ

TRY1の振り返り

自 TRY1の自分とクラスメートの日本語について考える
コメントシートに記入する
協 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自分(たち)の発話を観察

After　TRY2　状況Aと状況Bにおいて再度、発話する

12

3.1. 学習者による評価

学習者の順位（高評価2、低評価2）

状況A　宿題

【11女】
せんせー、あの、宿題を忘れてしまったのでー、次の日、持って来まーす。
【43女】
先生、すみません。ちょっと宿題を一忘れて来てしまいました。
【41男】
すいません、宿題、忘れてしまいました。
【47女】
先生、申し訳ございません。宿題を、忘れてしまいました。
【38女】
すみませーん、宿題われわれちゃったんですけどぉ、今度の授業でも、提出よろいでしょうか。
【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろいでしょうか。
【40女】
すいません、宿題忘れました。
【16男】
すいません、宿題忘れました。次回の授業で持ってきます。
【47男】
申し訳ありません。今日は提出日だと思ってませんでした。すみません。
【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

状況B　誤りの指摘

【26女】
先生、すみません。んとーー、あしたの小テストは、以前聞いていたぁ、来週の、小テストとはまた別のーテストでしょうか。
【33女】
先生、すいません。あのー、ちょっと、かん違いかもしれなぁいんですけど、いぜんー、らいしゅーというふうにおっしゃっていたかと思うんですけどもー。
【43女】
先生、あしたですかぁー。来週の金曜日というふうに以前うかがった気がします。
【51男】
先生、あの、日程の再確認なんですけども小テストはらいしゅーーではないでしょうか。
【32男】
先生、え、前回、え、らいしゅうーということでしたが、あしたなんでしょうか。
【38女】
せんせー、ら、えええ、らいしゅー、にテストがあるって聞いたんですけどぉ。変更したんですかぁ。
【16男】
テストは来週じゃないんですかぁ。
【40女】
らいしゅーって聞いてたんですけど、変わったんですか。
【42女】
先生、来週ってゆってましたけれども、あしたになるんですか。
【47男】
明日ですか。来週っていうふうに聞いてたんですけど。

※学習者には概ルビのスクリプトを提示

3.1. 学習者による評価

学習者の順位（高評価2、低評価2）

声が聞こえない

3.1. 学習者による評価

学習者の順位（高評価2、低評価2）

【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろいでしょうか。

【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

3.2. 学習者と母語話者による評価－状況A

状況A　宿題

【11女】
せんせー、あの、宿題を忘れてしまったのでー、次の日、持って来まーす。

・すみませんとか、もうしわけございませんとか全然ないし、次の日持ってきますと、先生の意見はない

【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろいでしょうか。

・「…ございません」、ていねいは、あとで先生に宿題をもってくれるから、でしょうかと聞いていい
・ていねいなことは、ほかの人より、ていねい感じがあります
・phrase　structureがいい

【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

・たぶん、ていねいそう、「××ございません」はでいう
・たくけい語があって、声がすみません感じがあります

母語話者

・素直な印象が受けられる
・***イントネーションや間隔の付け方がとても自然***であったから
・***最初が自然***だったため
・よくこのような言い方をする
「次の日」という言葉が個人的には「明日」の方が自然な会話になると感じる

FU
・延伸
・「あの」というフィラー

母語話者

・少し早すぎると感じた
・この場面ではかしこまり過ぎている
・表現が**丁寧で自然**に出るような発話に感じなかった、メールなどで使うような言い回しだった
・「申し訳ございません」のスピードは違い気がしたため
・抑揚がなく、流暢に話していていいが、硬いように思う

母語話者

・「申し訳ございません」が少し早すぎる
・「忘れてしまったんですけども」は使うには使うが、「忘れてしまいました」のほうが使うことが多い
・反省の場で笑ってしまうのは誠意が伝わってこない

3.2. 学習者と母語話者による評価－状況A

状況A　宿題

【11女】
せんせー、あの、宿題を忘れてしまったのでー、次の日、持って来まーす。

・すみませんとか、もうしわけございませんとか全然ないし、次の日持ってきますと、先生の意見はない

【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろいでしょうか。

・「…ございません」、ていねいは、あとで先生に宿題をもってくれるから、でしょうかと聞いていい
・ていねいなことは、ほかの人より、ていねい感じがあります
・phrase　structureがいい

【37女1】
申し訳ございませーん、宿題を一持って来るの忘れてしまっ(笑)たんですけども。

・たぶん、ていねいそう、「××ございません」はでいう
・たくけい語があって、声がすみません感じがあります

改まり度の高い日本語使用がよい

「問題をどのように」行為の意ごを考慮し、改まり度の調整をする

母語話者

・素直な印象が受けられる
・***イントネーションや間隔の付け方がとても自然***であったから
・***最初が自然***だったため
・よくこのような言い方をする
「次の日」という言葉が個人的には「明日」の方が自然な会話になると感じる

FU
・延伸
・「あの」というフィラー

母語話者

・少し早すぎると感じた
・この場面ではかしこまり過ぎている
・表現が**丁寧で自然**に出るような発話に感じなかった、メールなどで使うような言い回しだった
・「申し訳ございません」のスピードは違い気がしたため
・抑揚がなく、流暢に話していていいが、硬いように思う

母語話者

・「申し訳ございません」が少し早すぎる
・「忘れてしまったんですけども」は使うには使うが、「忘れてしまいました」のほうが使うことが多い
・反省の場で笑ってしまうのは誠意が伝わってこない

3.3. 状況Aにおける学び

Before　TRY1

状況Aにつけて状況Bについて実施

Language Awareness
実際の言語データを使用し、自ら考える
母語話者の発話を内省・比較・分析・観察
学習者間の協働

TRY1の振り返り

After　TRY2

状況A　宿題　と　状況B　誤りの指摘　において発話

＊スクリプトと母語話者による順位づけを提示＊
評価が低い発話＝「問題がある発話」と位置づけ、その問題点について考える
評価が高い発話＝「よい発話」と位置づけ、比較しながら考える
コメントシートに記入する
自　コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換する
他　知らなかった日本語や使いたい日本語、話し方についてコメントシートに記入する
他　コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換する

改まり度の高い日本語使用がよい　belief
・状況A　宿題における高評価の発話に共感できない
→丁寧なphraseに議論が集中

低評価の発話（自分たちの評価と一致する発話）について
・丁寧じゃない
・ロボットみたい
・めんどくさいな感じ、毎日、宿題ない
・声が強い

【40女】
すいません、宿題忘れました。
【16男】
すいません、宿題忘れました。次回の授業で持ってきます。
【47男】
申し訳ありません。今日は提出日だと思ってませんでした。すみません。

3.3. 状況Aにおける学び

Before TRY1

状況Aにつづけて状況Bについて実施

Language Awareness
実際の言語データを使用し、自ら考える
母語話者の発話を 内省・比較・分析・観察
学習者間の協働

TRY1の振り返り

After TRY2

状況A 宿題 と 状況B 話りの指摘 において発話

＊自ら考える＊ 強動を繰り返す

自 日本語母語話者10発話をランダムに聞き、順位づけを行う
コメントシートに、順位づけの理由を書く
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
順位づけ＋理由

＊スクリプトと母語話者による順位づけを提示＊
自 評価が低い発話＝「問題がある発話」と位置づけ、その問題点について考える
評価が高い発話＝「よい発話」と位置づけ、比較しながら考える
コメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自 知らなかった日本語や使いたい日本語、話し方についてコメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
母語話者の発話を観察
学びのまとめ

自 TRY1の自分とクラスメートの日本語について考える
コメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自分(たち)の発話を観察

状況Aと状況Bにおいて再度、発話する

3.3. 状況Aにおける学び－学習者の発話 Before

表2 状況Aにおける学習者の発話 Beforeとコメント

S1	あの、先生、あの、すみません、あの、しゅうまつー、えー、なつ、びょーきーなり、なりましたから、あの、う、しゅくだーいすることーは、できーなか、でき－なかった あの－、ごめんなさい
コメント	S1:「あの、あの、あの、あの」毎回毎回、ちょっと変。文法はとっても変な感じ。語彙はあまりありません。 K1:大丈夫です。わかりやすい日本語で、ゆっくり話していいです。 K2:でも、日本人感じ。似ている。
K1	あ、せんせー(笑) 宿題をー、家に、もって、くれました？
コメント	K1:声がロボットみたいな、ちょっとやさしい話すのがいいかな？ (S1との比較で)「あの」が足りない(発表者:ないね)
K2	あ、すみません、わたしが、お、宿題をー、わすれて、います、いました 次の、おー宿題をたてて、あげます
コメント	K2:文法が破壊。緊張して、ことばがはやく考えない。 S1:緊張している感じ。 K1:文法が下手だというけど、理解できます。

T スクリプトで「あの」のような日本語を探してみるように指示
【11女】
先生ー、あの、宿題を忘れてしまったのでぇー、次の日、持って来まーす。
【32男】
先生、申し訳ございません。え、宿題わすれてしまったので、後日の提出よろしいでしょうか。

3.4. 状況Bにおける学び

Before TRY1

状況Aにつづけて状況Bについて実施

Language Awareness
実際の言語データを使用し、自ら考える
母語話者の発話を 内省・比較・分析・観察
学習者間の協働

TRY1の振り返り

After TRY2

状況A 宿題 と 状況B 話りの指摘 において発話

＊自ら考える＊ 強動を繰り返す

自 日本語母語話者10発話をランダムに聞き、順位づけを行う
コメントシートに、順位づけの理由を書く
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする

＊スクリプトと母語話者による順位づけを提示＊
自 評価が低い発話＝「問題がある発話」と位置づけ、その問題点について考える
評価が高い発話＝「よい発話」と位置づけ、比較しながら考える
コメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする
自 知らなかった日本語や使いたい日本語、話し方についてコメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする

自 TRY1の自分とクラスメートの日本語について考える
コメントシートに記入する
強 コメントシートを共有しながら、クラスで意見交換をする

状況Aと状況Bにおいて再度、発話する

3.4. 状況Bにおける学び

学習者の順位（高評価2、低評価2）

状況B 誤りの指摘

・いい文法とかでていないな感じがする
・他の人よりれいさがあります。感じだけ
・「先生、すみません。んとー」と考えます

【26女】
先生、すみません。んとーー、あしたの小テストは、以前聞いていたあ、来週の、小テストとはまた別のーテストでしょうか。

・表現は正しそう
・「ちょっと、かん違いかもしれないけど」があるからでいねい
・43女と同じぐらい。日本語、普通です
（発表者：いいです）

【33女】
先生、すいません。あのー、ちょっと、かん違いかもしれなぁいんですけど、いせんー、らいしゅーというふうにおっしゃっていたかと思うんですけども－。
【43女】
先生、あしたですかぁー。来週の金曜日というふうに以前うかがった気がします。
【51男】
先生、あの、日程の再確認なんですけども小テストはらいしゅーーではないでしょうか。
【32男】
先生、え、前回、え、らいしゅうーということでしたが、あしたなんでしょうか。
【38女】
せんせー、ら、ええど、らいしゅー、にテストがあるって聞いたんですけどぉ。変更したんですかぁ。

・声が強い
・怒っている感じ

【16男】
テストは来週じゃないんですかぁ。

・あなたが間違っている、私があっている感じ。強い

【40女】
らいしゅーって聞いてたんですけど、変わったんですか。

・話しかた、先生と話すときちょっと変。ストレート
・質問感じがない。自分が言いたいことだけ言いました
ロボットみたい

【42女】
先生、来週ってゆってましたけれども、あしたになるんですか。
【47男】
明日ですか。来週っていうふうに聞いてたんですけど。

3.4. 状況Bにおける学び－学習者の発話 Before

表3 状況Bにおける学習者の発話 Beforeとコメント

S1	あの、すみません。あの、昨日は、先生が、あーテストは、らいしゅー、らいしゅーって、といいましたから、あのー、わ、あのー、わからない。あのーちがいますか？ちがいますか？
コメント	S1:「あの、あの、あの」。でも、文法、もう一回文法はちょっと正しくない。話すとき、全部、一回で話せない。 K1:私、いいです。 K2:いいいです。ゆっくり。
K1	あー、先生、あ、らいしゅー、キイズ？があったきいますけど、あしたの小テストは、キイズと違うことですか。
コメント	K2:いいいです。26女の感じ。 S1:めっちゃいいです。
K2	お、質問があります。おー私が、おー次の？授業、らいしゅー、あ、らいしゅうー次の授業にキイズがあります、と、もうしますけど、う、あしたは、あ、き、きんようび？きんようびがあっていますか。
コメント	K2:違うことばがたくさんあります。考えて話します。 S1:はじめのパートがいいですよ。そのあと、ちょっとちょっと話します。 K1:いいです。

T（コメント「全部、一回で話せない」に対して）「一回で話している日本人はいますか？」→16男、47男
S1:例えば、別のことばかも方がいい。例えば、「ええと」にする。「あの、あの、あの」はちょっと変。
T スクリプトにどのようなフィラーのバリエーション(「別のことば」)があるかを確認する
T 言葉がぐにでてこなくてもよい、フィラーや延伸をしながら話すとよい
スクリプトをみながら、日本人の発話にも散見されることを確認する

3.4. 状況Bにおける学び

状況B 誤りの指摘

・いい文法とかでていないな感じがする
・他の人よりれいさがあります。感じだけ
・「先生、すみません。んとー」と考えます

【26女】
先生、すみません。んとーー、あしたの小テストは、以前聞いていたあ、来週の、小テストとはまた別のーテストでしょうか。

・表現は正しそう
・「ちょっと、かん違いかもしれないけど」があるからでいねい
・43女と同じぐらい。日本語、普通です
（発表者：いいです）

【33女】
先生、すいません。あのー、ちょっと、かん違いかもしれなぁいんですけど、いせんー、らいしゅーというふうにおっしゃっていたかと思うんですけども－。
【43女】
先生、あしたですかぁー。来週の金曜日というふうに以前うかがった気がします。
【51男】
先生、あの、日程の再確認なんですけども小テストはらいしゅーーではないでしょうか。
【32男】
先生、え、前回、え、らいしゅうーということでしたが、あしたなんでしょうか。
【38女】
せんせー、ら、ええど、らいしゅー、にテストがあるって聞いたんですけどぉ。変更したんですかぁ。

・声が強い
・怒っている感じ

【16男】
テストは来週じゃないんですかぁ。

・あなたが間違っている、私があっている感じ。強い

【40女】
らいしゅーって聞いてたんですけど、変わったんですか。
【42女】
先生、来週ってゆってましたけれども、あしたになるんですか。
【47男】
明日ですか。来週っていうふうに聞いてたんですけど。

・話しかた、先生と話すときちょっと変。ストレート
・質問感じがない。自分が言いたいことだけ言いました
ロボットみたい

3.5. 学習者の発話－状況A Before - After

表4　状況Aにおける学習者の発話 Before - After

S1 B	あの、先生、あの、すみません、あの、しゅうまつー、えー、なつ、びょーきーなり、なりましたから、あの、う、しゅくだーいすることーは、できーなか、できーなかった あのー、ごめんなさい
コメント	S1：「なり」は、あに、あに、あに、に、意図不明。「なった」は、文法的にOK。文法はしっかり意味に影響はあまりない。 K1：はい。 K1：大丈夫です。わかりやすい日本語で、ゆっくり話していいです。 K1：ゆっくりでいいです。ゆっくりでいい。
S1 A	あの、すみません。しゅうまつっ、病気が、あー、ありましたーから、宿題を忘れー、忘れてしまいました。おー、あしたー、あしたもいいですか。
K1 B	あ、せんせー(笑) 宿題をー、家に、もって、くれました？
コメント	K1：学習者が「うれしい」、「ょっーかさい」と言ってるから、 K1：はい。 K1：はい。あの、「ゆっくーの日」ください。
K1 A	あ、先生、すみません。宿題をわすれしまいました。えっとー、次の授業にたしゅっしてもよろしいでしょうか。
K2 B	あ、すみません、わたしが、お、宿題をー、わすれて、います、いました 次の、おー宿題をたでて、あげます
コメント	K2：文法的に間違、発音は、ーっ、のはは？？？？？？？？？ S1：緊張してる感じ。 K2：文法的で発音はいいけど、理解できます。
K2 A	あ、すみません、あの、私が、コ 宿題を忘れてしまいまし、たが、あー、次の授業に宿題を、う、ていしゅつーを、あ、提出してもよろしいでしょうか。

3.5. 学習者の発話－状況B Before - After

表5　状況Bにおける学習者の発話 Before - After

S1 B	あの、すみません。あの、昨日は、先生が、あーテストは、らいしゅー、らいしゅーって、といいましたから、あのー、わ、あのー、わからない。あのーちがいますか？ちがいますか？
コメント	S1：あの、あの、あの、ってい、文法、もう一回文法はちょっと正しくない。聞きます。意味、一回で理解せない。 K1：はい。いいです。 K2：いいです。ゆっくり。
S1 A	あのー、すみません、えーー先生、試験、試験はー、試験、試験、えーーと、は、たぶん、らいしゅーと思います。たぶーん、わからない。
K1 B	あー、先生、あ、らいしゅー、キイズ？があったきいますけど、あしたの小テストは、キイズと違うことですか。
コメント	K2：いいです。28文の感じ。 S1：めっちゃいいです。
K1 A	あ、先生、すみません。おー、まちがーってるかもしれないけど、前、先生から、来週にキイズがあったと、き、ききました。えっとー、今週のキイズと違うのキイズですか。
K2 B	お、質問があります。おー私が、おー次の？授業、らいしゅー、あ、らいしゅう一次の授業にキイズがあります、と、もうしますけど、う、あしたは、あ、き、きんようび？きんようびがあっていますか。
コメント	K2：違うことばがたくさんあります。考えて話します。 S1：はじめのーーーがいいです。そのあと、ちょっとちょっーと話します。 K1：いいです。
K2 A	すみません、お、私が質問があります。あ、私が、お、まちがーってかもしれないーですけどお、おー次の、あ、来週の次のキイズは、あしたのキイズが、別に、あ、他のクイズがあっていますか。

4. おわりに

表6　「気づき」の有無

	フィラー	延伸
本実践	有	無
舩橋・平田(2022)の実践	有	無

90分*7回*3クラス
計30名のJLPT N2程度の学習者

・フィラーの選択
・不自然な印象

コメント例：
「で、あの、えーと、ですね、なんでしょう」などよく使った。
※スクリプト上の延伸を視読して引用する記述コメントはあるが、延伸自体への言及はない

教育的示唆

・知識として提示しにくい学習項目、「気づき」が起こりにくい項目
　＊学習項目としての延伸
　　初級から行われるミニマル・ペア練習（例：「ビル／ビール」「おばさん／おばあさん」）：意味の弁別に関わるため延伸しないよう、抑え込む方向に(暗に)繋がるのではないか
・教育的介入
　＊インプット強化／アウトプット強化(産出練習)
　＊留意点：能力不足から生じる延伸をある程度抑えた上での、延伸が機能すると考えられる点
・今後の課題
　＊インプット強化／アウトプット強化の効果を縦断的に追跡する

引用文献

岩崎典子．2020．日本留学前後に見られる日本語を話す力の発達：プロフィシェンシー(言語運用能力)と流暢性，白畑知彦・須田孝司編，第二言語習得研究モノグラフシリーズ4 第二言語習得研究の波及効果 コアグラマーから発話まで，129-157，くろしお出版．

佐藤淳子．2023．日本語教育データセッション，シンポジウム 非流暢性への多角的アプローチ：言語に埋め込まれた垂コード，2023.03.26，オンライン．

舩橋瑞貴・平田未季，2022．産出に取り入れられない「気づき」：生教材を用いた口頭表現クラスの事例をもとに，社会言語科学会 第46回大会発表論文集(電子版)，223-226．

村岡有香．2012．気づきを高める英語教育，教育研究，54，233-244．

村野井仁．2006．第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法，大修館書店．

Gass, S. M. 1997. *Input, interaction, and the second language learner*. Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.

Morrow, K. 1977. Authentic texts and ESP. In S. Holden (Ed.), *English for Specific Purposes*, 13-16, London: Modern English Publications.

Schmidt, R. 1990. The role of consciousness in second language learning. *Applied Linguistics*, 11(2), 129-158.

Segalowitz, Norman. 2010. *Cognitive bases of second language fluency*. Routledge.

Sharwood Smith, M. 1991. Input enhancement in instructed SLA: theoretical bases. *Studies in Second Language Acquisition*, 15, 165-179.